

土佐山田支所管内より



## “にこまる”でにこにこ(\*^^\*)

たけしまあきら  
竹島 章さん(75)

青ネギ・米の栽培を始めて45年になるベテラン農家の竹島さん。今年11月、皇居で行われる『新嘗祭』に献上するコメの献穀者として選ばれました。

大安で一粒万倍日の5月10日に15アールの水田に“にこまる”という品種の苗で「田植え式」が行われたばかり。

これからは、ほ場管理を行い9月18日に『**抜穂式**』が行われます。

「今回大変名誉なことではありますが、抜穂式までの約5カ月間その日を無事迎えるまで気が抜けません。責任の重さを感じていますが、県や市、JAや地域のみな様に色々とお世話になり感謝しています」と話してくれました。また、コロナ禍で大変な思いをしてきたみんなが“にこまる”のように、にこにこ顔になれたらと願っている竹島さんです。(\*^^\*)



地区担当者より

## 飼い主さんの念願叶って、 家族になった“ムギ”

ムギ(2歳2ヵ月) オス

飼い主さんは、中学生。犬を飼いたいという想いがずっとあったそうで、その想いを胸に持ち続けながらある日お母さんとペットショップに行った時に、“ムギ”に一目惚れ♡

すぐにお父さんに相談。飼うことの責任の重さを考えたお父さんからの返事は「ダメ!!」……

でも、どうしても“ムギ”の可愛さを忘れることが出来ず、1ヵ月間お母さんとペットショップに通ったそう。飼いたい気持ちも強く、もう1度お父さんに相談。その時の返事も「ダメ!!」

こんなにもお願いしてもダメなら、最後一目見てお別れをしようと会いに行ったその日、店員さんから声をかけられ“ムギ”を抱っこさせてもらえる事に。飼い主さんが抱っこした瞬間びったりくっついて、脇の下に顔を埋めてきて初めましてだけどべったり。その様子を隣で見ていたお母さんは慌てて携帯電話で写真を撮り、その場でお父さんに送信。2人を写真越しに見たお父さんこれは!と感じた所があったようでその日に飼うことに(\*^^\*)

飼う時の約束を今も守り、“ムギ”の散歩・身の回りのお世話をしっかりとしている飼い主さん。“ムギ”からしたら飼い主さんはご主人様では無く友達のように、仲良しだけど怒ったりもするそう(笑)。すっかり家族の一員の“ムギ”です。



# 香美地区 から こんにはは 今月の 気になる人

## 物部町の活性化に繋がるのが わたしの夢!

おかむら ひかる  
岡村 光さん(58)

“ものべ民話と歴史の会”が物部町のふるさと市で開いている、甘味処『ものべ民話と歴史の会 カフェ・風土記』。そこで店長として活躍されている岡村さん。

岡村さんは、ご自身が幼い頃から、曾祖母・祖母から物部町の民話を聞いて育ち、物部町も地域の民話も大好き。絵を描くことも好きで専門的な知識を学ぶため県外に出て、就職も。そして高知へ帰って来た時に“ものべ民話と歴史の会”のメンバーに声をかけられ一緒に活動を始めたそうです。

「曾祖母・祖母が話してくれた民話を録音したものがあき、それを文字におこして絵も描きゆうがよ。物部という場所も好きやし歴史も大好きやき、形として残してずっと繋いでいきたいし、興味を持ってくれる人が増えて物部町の活性化に繋がっていったらすごく嬉しい!(^^)!それがわたしの叶えたい夢です!!」と、生き生きしている岡村さん。

カフェで販売している人気のどら焼きには、岡村さんが描いたマスコットの絵が焼印されています。とっても可愛らしいたぬき・しか・いのししをモチーフにしたキャラクターで、一般募集した名前もついています。

民話好きな方、今回で興味を持たれた方、どちらでもない方も、ぜひ物部町の甘味処『ものべ民話と歴史の会 カフェ・風土記』にお出かけしてみてください。

物部支所管内より



手先も器用な岡村さん。どんぐり等で作られた作品

# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



神事の様子。

## 1 土佐山田支所管内 新嘗祭



新嘗祭に献上する米の「田植え式」が5月10日、土佐山田町山田島で行われました。

新嘗祭とは11月23日に行う宮中行事。天皇が新穀など天地の神に供え、その供物を神からの賜りものとして自らも食する儀式で、最も重要な祭事と位置づけられ古代から行われていました。県内では、献穀者を5ブロック持ち回りで選んでおり、今年は土佐山田町の竹島章さんが選ばれました。

「田植え式」には香美市市長、県農業振興部やJA役員ら農業関係者22人が出席。晴天のなか、早乙女姿の職員らが、「にこまる」という品種の苗を、田植え定規を使い丁寧に手植えました。

式典の最後に実行委員を代表しJA高知県香美地区 森田常務が「水田農業は、いのちのみなもとであり、いのちをばくむ創造であるとともに、美しい景観を涵養しながら災害を防止するなど地域社会そのものを守るかけがえのない役割を有しています。そうした原点に返りまさに献穀田を象徴とし、収穫までの間、竹島さんとともに大切に守り育てていきたいと考えています」と謝辞を述べました。

9月には「抜穂式」を行い、収穫した米を精米し、1升を献上します。

## 2 夜須支所管内

### 日本一早い秋の味覚『土佐紅』収穫始まる



収穫の様子。

香美地区管内で、日本一早い「土佐紅（早堀甘藷）」の収穫が5月16日から始まりました。

香美地区早堀甘藷部会夜須支部では、部員6人が965アール（ハウス・露地）で栽培し、約170tの出荷を見込んでいます。

一般的なサツマイモの出荷時期が8月から11月であるのに対し、「土佐紅」は、高知県の温暖な気候を生かして栽培されており、ハウス栽培のほか、トンネル被覆による露地栽培で5月下旬から7月中旬と日本一早い出荷が行われています。

「土佐紅」は名前の通り鮮やかな紅色で非常に皮が薄いのが特徴です。機械による洗浄・選別ができないことから、ひとつひとつ丁寧に手作業で出荷の準備を行い、貯蔵は一切せず掘りたての新芋として全国に出荷しています。

同部会夜須支部部長 井上和俊さんは「寒暖差が激しく、成長を心配したが大きく育った。味も例年並みに美味しいので自信を持って全国に出荷出来る」と話しました。

## 3 野市支所管内

### 地域で農業振興に取り組む



香美市市長からトップセールスに訪問した時の報告の様子。

香美・香南地区農業振興連絡協議会総会が、5月12日に野市支所大ホールで行われ37人が出席しました。

協議会は香美市・香南市の両市長、農業委員会会長や、中央東農業振興センター、JA役員らで構成されています。

総会では令和4年度事業報告・令和5年度事業計画を事務局が説明。

令和5年度も、生産資材高騰や農業者の高齢化及び耕作放棄地増大など課題ごとに協議を重ね、関係機関が連携を取りながら、地域の農業振興発展に向け取り組んでいくことを確認しました。

## 4 地区本部

### ゴールデンウィークにシトウPR



来場者にシトウのPRをする生産者。

香美市・香南市・南国市と物部川流域でシトウ生産者で立ち上げた「シトウを盛り上げる会」のメンバーが、5月3日に高知市の高知駅前広場、ごうち旅広場イベントラウンジに出店しました。

会には同地区のシトウ部会生産者3人と指導員も入り、当日は自分たちが作ったシトウを来場者に直接PRが出来るとあって、積極的に声を掛けていました。イベントでは、「非辛味しとう」のバックや、「シトウ味噌」、南国市の「めんけんカシャ」とシトウを合わせた「高知南国めん餃子」「めんチヨリン」を販売。中でもその場ですぐ食べられる餃子・チヨリンが人気でした。

## 5 香我美支所管内

### ハウスみかん 収穫・出荷始まる



みかんを収穫する生産者 藤村和也さん。

香美地区管内で4月26日よりハウスみかんの収穫・出荷が始まりました。ハウスでは4月下旬から9月中旬まで極早生・早生・雨よけの順に収穫をします。ハウス栽培では温度や水分をコントロールでき、糖度が高いことももちろん酸味とのバランスのよいみかんを栽培することができず。

温室みかん部会の長崎篤史部会長によると、今年のみかんは気象条件による影響もありましたが、栽培管理に努めた結果、品質は例年以上で、糖度と酸のバランスの良いものができたとのことです。

現在部会では、44人が13ヘクタールで栽培し、今年度は約70tの出荷を見込んでいます。

## 6 地区本部

### 東果大阪（株）の社員食堂で『高知県産フェア』開催



「高知県産フェア」を堪能する様子。

今年2月、香美地区園芸部と香美市・香南市の両市長が、日ごろ出荷取引が盛んに行われている関東・中部・関西方面の市場に向き、香美地区トップセールス表敬訪問・消費地会議を行いました。

その際、関西土佐会との意見交換会の中、両市長が地元産品のPRをしていくために、「高知県の食材を社会などに取り入れてもらいたい」と提案。その思いが実現し、東果大阪（株）の社員食堂で高知県産野菜をふんだんに使った定食メニュー「高知県産フェア」が4月17日から5日間限定で開催されました。

社員のみならずにも好評で、「社員が高知県の野菜を知る機会にもなりとても良かった」とお礼の言葉も頂きました。

チャレンジ！ 家庭菜園

# タアサイ

# 霜に当たるとおいしさが増す

タアサイはツケナの仲間で、中国語で「搦菜」と書きます。「搦」は「つぶれる」という意味です。葉は平たく杯状に広がっており、さじ状で縮れがあり、日本の野菜では「キサラギナ」に似ています。チンゲンサイと共に、代表的な中国野菜です。

【品種】品種分化が少なく「緑彩二号」（サカタのタネ）、「タアサイ」（タキイ種苗など）として販売があります。

【畑の準備】種まきの2週間前までに1平方メートルあたり苦土石灰100gをまき、酸度を矯正しておきます。1週間前までに堆肥1kgと化成肥料（NPK各成分10%）100gを施し、土とよく混ぜておきます（図1）。次に、幅1m、高さ5cm程度の栽培床を作ります。

【種まき】春まきでは条間15cm、株間15cm、秋まきで大株にするには条間20cm、株間20cmに1カ所5、6粒の点まきをします（図2）。発芽まで土が乾かない程度にかん水し、発芽後は土が乾いたらたっぷり与えます。なお、ポリマルチを使うと、生育の促進に加え、土が葉の間に入るのを防ぐ効果があります。種まき後は防虫ネットでトンネルを作り、害虫から保護しま

す。また、べたがけは発芽促進と害虫の防止になるため、1カ月程度被覆するのも良いでしょう。

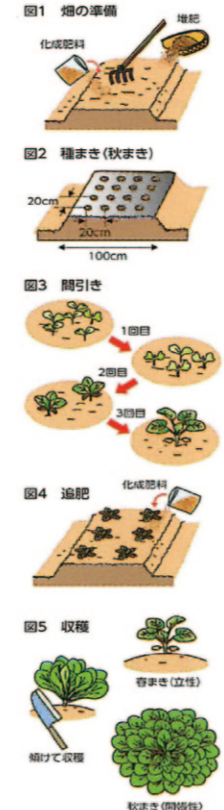
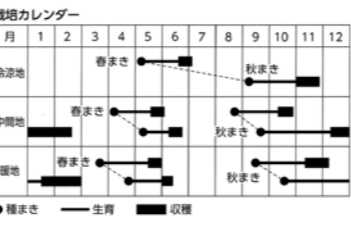
【間引き】1回目は発芽後、込み合っている株を除き、2回目は本葉2、3枚の頃に2本、3回目は本葉5、6枚の頃に1本にします（図3）。

【追肥】大株に育てるには、最後の間引きの半月後に化成肥料を畝間にばらまき、軽く土寄せします（図4）。

【病害虫防除】アブラムシやアオムシ、ヨトウ

ムシなどが発生します。アブラムシには粘着くん液剤など、アオムシ、ヨトウムシにはトアロー水和剤CTなどを使用します。長雨のときは、べと病や白さび病が発生しやすいので、株間を少し広めに取ります。

【収穫】春まきでは株が立性になり、草丈25cmくらい、秋まきでは、葉が大きく広がって開帳性になり、上から見て直径20cmくらいから収穫を始めていきます（図5）。寒い時期になるとおいしさが増してきます。収穫後は広がっている葉を内側につぼめてひもで縛ると扱いやすくなります。



# えいのう〜



# 水晶文旦

〜節水管理と病害虫防除〜

## 丁寧な最終管理で高品質果実の生産を

### 〔節水管理〕

7月現在、果実収穫時期まであと2〜3か月という時期になっています。生育ステージとしては、「果汁増糖期」に入っており、果実品質向上を図る重要な時期です（露地で想定すると9月中旬〜10月下旬を想定しましょう）。

そこで、糖度の上昇を促進させるために節水管理に入ります。節水の程度は、果実の横径が節水開始から約2週間で5ミリ程度の肥大量を維持し、果実がやや軟らかくなる程度としましょう。

過度の節水は果実の肥大を悪くするとともに、樹勢の低下やにせ黄斑病などの発生の原因になりますので、果実と樹の様子を観察して適度な節水を行いましょう。

### 〔病害虫防除〕

・ミカンハダニ

ミカンハダニの卵から成虫までの成長期間は、温度によって左右されます。気温が高い時期は成長が早く、孵化から産卵までの日数は20℃条件下では約14日間、25℃条件下では約9日間です。

主な被害としては、葉のカスリ・萎縮に加え、果実も吸汁しカスリが出て商品価値がなくなってしまう。ほ場内での発生が確認された場合、ダニオートフロアブル、メビウスフロアブル等（上記薬剤はいずれも2000倍希釈）の殺ダニ系薬剤を散布し防除の徹底を行います。



# みかん

〜ミカンサビダニ〜

### 生態とその被害

この虫は体長0.16mmと非常に小さく、肉眼で見つけることは困難です。また、初期は園内の一部の樹で発生し、樹の中でも一部の枝で発生するため発見は難しいです。カンキツの果実では黒かっ色のよれが主に陽光面に生じ、ひどくなると果実全体に及び、後に6〜7月（前期）には灰白色のサビ症状になります。8〜10月（後期）の加害では着色につれて、茶褐色または黒褐色になります。ほ場周辺に放任園地があると発生しやすいです。

### 防除方法とポイント

この虫の被害の発生は夏季で加害から2〜3週間後であり、被害を認めてからの防除ではこの虫の発生を抑えたとしても防除後も被害が拡大します。発生初期は園の一部で発生するため、労力的にこの虫の数を調べて防除することは難しく、予防散布しか方法がありません。梅雨明け直後（7月中旬〜8月上旬）の防除が特に重要であり、コテツフロアブル（4000倍〜6000倍・収穫前日・2回まで）を予防散布します。

〜ゴマダラカミキリ〜

### 発生とその被害

食入された木は、樹皮のところどころから細かい木くずのように見える虫糞がおし出されています。ふつう、主幹の字きわ部からすこし上の辺りにもっとも多いです。主幹の樹皮の下の形成層の部分を、斜めにらせん状に坑道を掘り進んで食害していくことが多いです。こうして主幹の周囲をひとまわりすると、木は水分や養分の流通を断たれて枯死します。ほ場周辺に放任園地があると多発生します。

### 防除方法とポイント

成虫はカイガラムシ等と同時防除を行います。2〜3齢幼虫の防除適期は産卵最盛期から20日後頃となります。その際には地際の土を取り除き、幼虫の食入部分に薬剤がよくかかるよう散布を行います。多発時には15〜20日後に2回目の防除を行います。幼木では9〜10月に園内を見回り、残っている幼虫を捕殺します。産卵部位が乾燥したり、直射光が当たるとふ化率が低下するので、樹幹下部を敷草などで覆わないようにします。



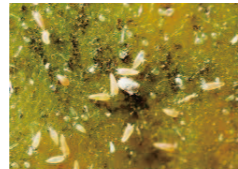
被害樹



ゴマダラカミキリ



被害果実



ミカンサビダニ

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

「地産地消」「国産国産」本当に大切で必要なことだと思います。

(香南市野市町・60歳)

表紙の青ネギ、美味しそうです。カルシウムも含まれているんですね。日本の食料自給率、本当に心配です！周りには耕作されなくなった土地が目立っています。最近少し高めでも地物や国産を買いようとしています。

(香美市土佐山田町・50歳)

▼「こうぐり5月号 特集①」高知と日本の食と農を守るために」についてのお便りです。日々の生活で買い物するわたしたちもそうですが、農業をしている皆さんも本当に厳しい状況が続いています。おいしい作物の、まずい話、これ以上「まずい」ことにならないよう消費者のわたしたちが出来ることから始めないと!! ですね。

農業の詳しい内容は理解ができませんが、野菜を使った料理の紹介をしてくれるうちんくの台所、今月の気になる人など、地域に密着している内容は大好きです。高い高知県が「こうぐり」によって身近に感じ、知らないことを教えてもらっています。この「こうぐラムの「これからの手」が印象深く暖かい気持ちになりました。

(香南市赤岡町・50歳)

いつも楽しく購読しています。農業のことはあまりわからないけれど読んでみると知らなかったことがわかって勉強になります。これからも、もっともっと楽しい「こうぐり」を作ってほしい。

(香南市赤岡町・52歳)

川柳読みました。おもしろい。わたしが気に入ったのは「ホツとするコーヒータイムは、こうぐりとどが共感し、ほんわかとしたしあわせな時間になるように感じました。

(香南市野市町・67歳)

▼「広報誌「こうぐり」」によって高知県が身近に感じられるや、勉強になる、ホッと息づく時に「こうぐり」を開いてくれている様子の川柳や、担当者として本当に嬉しいお便りが届きました。これからも、色々な方が読んで楽しめる・学べる広報誌を届けて行きたいです！薄着になる季節が来てダイエットを考えているのに「うちんくの台所」のページ「これおいしそう!!」と、毎号レシピノートに取り込んでいます。

(香美市土佐山田町・71歳)

▼「半袖の季節がやって来ましたね。ダイエット……ムキムキではなく、むっちりむちりの腕を出して仕事してあります(笑)」「うちんくの台所」に掲載される料理は毎月各地区の産品など色々な食材を使っている料理レシピが多く、「これおいしそう!」ばかりですよ(笑)

## 廃ポリ・廃プラ回収日

### ◆ 廃ポリ

香北支所 とき：8月24日(木) 午前9時～11時  
 夜須支所 とき：8月1日(火) 午前8時～9時30分  
 8月22日(火) 午前8時～9時30分  
 吉川・香我美・赤岡支所 とき：8月10日(木) 午前8時～10時

### ◆ 廃プラ (ビニール)

土佐山田支所 とき：8月18日(金) 午前9時～10時  
 夜須支所 とき：8月29日(火) 午前8時～9時30分

### 回収場所

香北支所は生姜予冷庫前、土佐山田支所は土佐山田購買課西側駐車場。野市支所、夜須支所、吉川・香我美・赤岡支所は旧香我美ライスセンターとなっています。

### 回収にあたってのご注意

ビニール・ポリ以外の異物(泥土・ゴミなど)が付着すると、費用負担が多くなり、何よりも土の微粒子等が飛散することにより近隣住民に大きな迷惑となります。回収にあたり、異物を十分に取除いて頂きますようお願いいたします。

## 香美営農経済センター購買課よりお知らせ

重油燃え殻の回収を下記の日程で行います。

### 記

日付	支所名	回収場所	時間
8月17日(木)	香北	香北支所前駐車場	9:00～9:30
	土佐山田	土佐山田購買課前	10:00～10:30
	野市・吉川	野市購買課前	11:00～12:00
	夜須	夜須購買課前	13:30～14:30
	香我美	香我美支所前重油倉庫	15:00～16:00

- 処理費用 [参考価格]  
 ・高知県農協より重油購入の場合 150円/1kg (消費税込)  
 ・他業者より重油購入の場合 300円/1kg (消費税込)

- 持込方法  
 肥料空袋に燃え殻を入れ、マイカ線で飛散しないように縛って下さい。  
 (※重量を軽くするため、乾燥をお勧めいたします。)

問合せ先 香美営農経済センター購買課 (溝淵)

電話番号 0887-56-2372

【連絡先】 高知県農業協同組合 香美地区本部 〒781-5295 香南市野市町西野2704-2 TEL.0887-56-0121

野市支所 56-0921 物部支所 58-3105  
 香北支所 59-2321 土佐山田支所 53-2155  
 吉川支所 55-2117 赤岡支所 55-2151  
 夜須支所 55-2155 香我美支所 55-3135

香美営農経済センター 56-2372  
 特産センター 56-0061 車輛センター 56-0314  
 農機センター 53-4221 LPガスセンター 53-4353  
 JA共済高知中央サービスセンター 088-821-6015  
 JA葬祭会館「ルミエールとさかみ」56-5911 (24時間対応)